

NTTの海底伝送路(1999年度の日本の海底ルート地図。光ルートのみ)

20世紀の終わり、日本の海底伝送路の総延長は約10,000km。

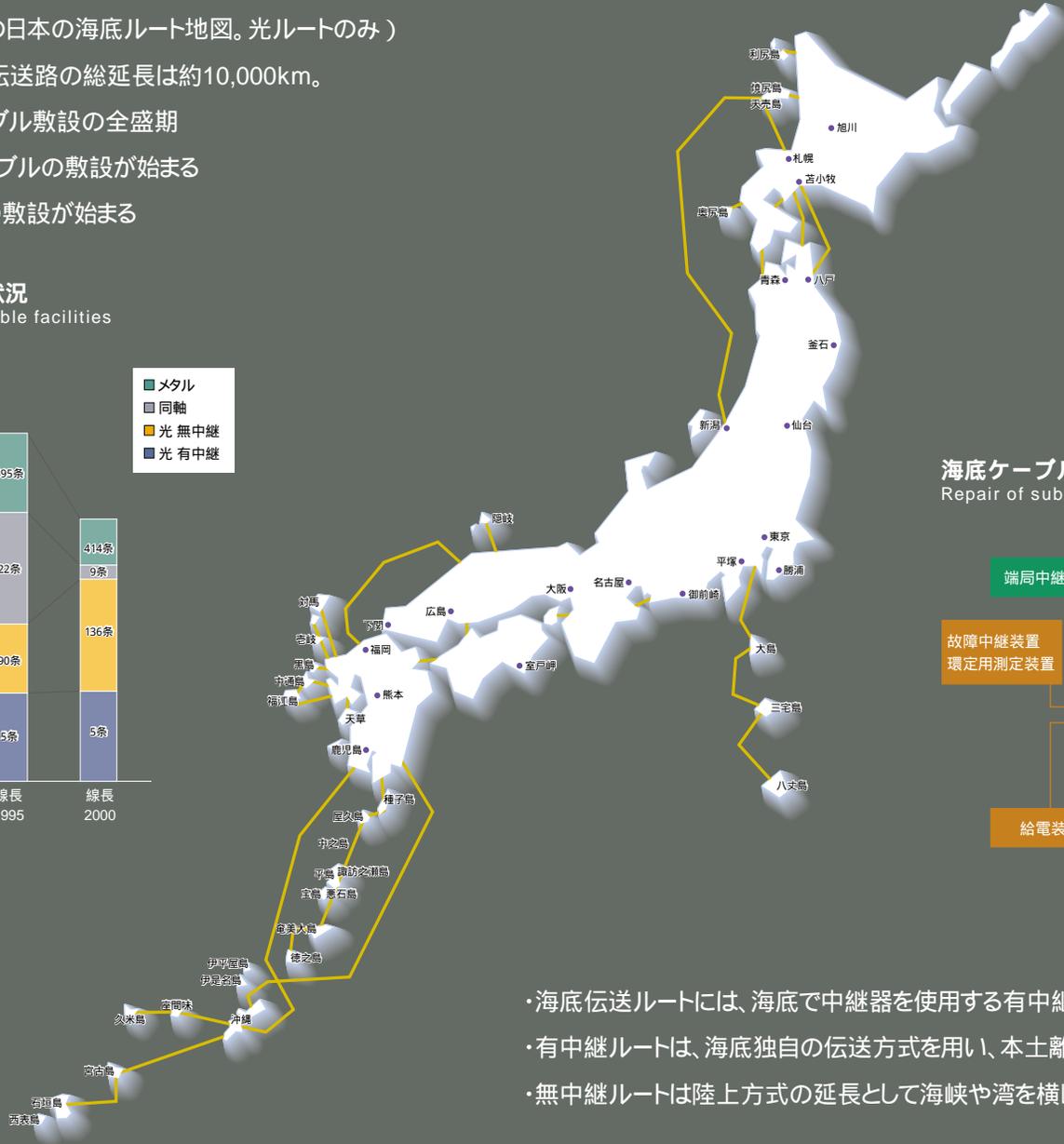
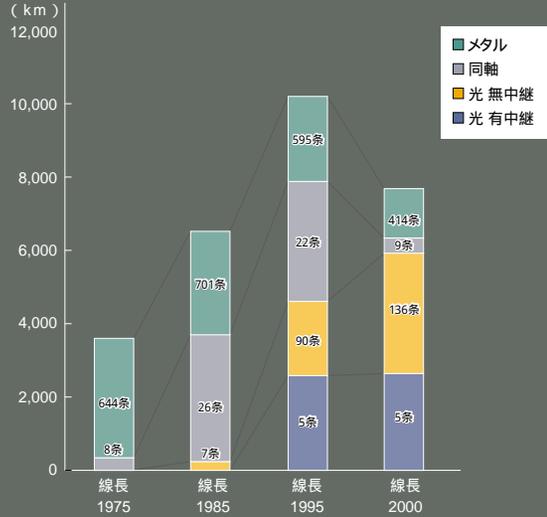
1975年.....同軸海底ケーブル敷設の全盛期

1985年.....光ファイバケーブルの敷設が始まる

1995年.....FSAシステムの敷設が始まる

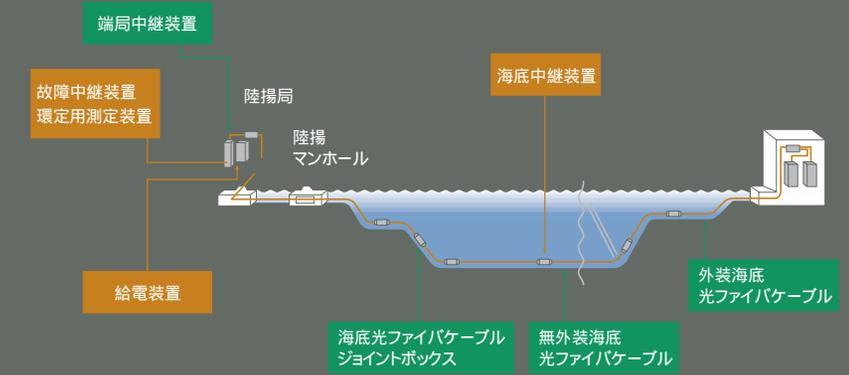
### 海底線設備状況

Details of submarine cable facilities



### 海底ケーブルの修理 切断の場合を例に

Repair of submarine cables: Example of a cut cable



- ・海底伝送ルートには、海底で中継器を使用する有中継ルートと、使用しない海底無中継のルートがある。
- ・有中継ルートは、海底独自の伝送方式を用い、本土離島間など数百km～千kmを結ぶ。
- ・無中継ルートは陸上方式の延長として海峡や湾を横断する。ケーブルも、陸上方式と整合性のあるものが使われる。